

夏の星空を観察してみましよう(観察方法)

環境省では、星空観察を通じて光害(ひかりがい)や大気汚染等に気づき、環境保全の重要性について関心を深めていただくこと、また、良好な大気環境や美しい星空を地域資源(観光や教育)としても活用していただくことを目指し、星空観察を推進しています。

1. 肉眼による観察

観察期間 : 平成 30年 8月 2日(木)～ 8月 11日(土)

観察時間 : 日没後1時間半以降 (事前の申込みは不要です)

※暗い環境に時間をかけて目を慣らすと(目安 10 分以上)、微かな星が見えてきて観察しやすくなります。

(1) 「天の川」の観察

- ① 参考資料「8月の星図」をご覧ください、「天の川」付近にある星座(はくちょう座、たて座、いて座)の位置を確認します。
- ② 別紙1の「天の川観察シート」をご覧くださいながら、肉眼(メガネをかけた方はそのまま)により、それぞれの星座付近の「天の川」が見えるかどうか観察してみましよう。



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

(2) GLOBE AT NIGHTへの参加によるはくちょう座周辺の星の観察

- ① 肉眼(メガネをかけた方はそのまま)により、はくちょう座を中心とした領域の星を観察します。その見え方が、別紙2の「GLOBE AT NIGHT 観察シート」にある8つの星図のどれに一番近いか観察してみましよう。(観察時の雲量も合わせて観察してください)
- ② 観察結果は、国際ダークスカイ協会(IDA)のウェブサイト(<http://idatokyo.org/gan/>)に報告すると、世界中にデータが共有されます。奮ってご参加ください。



【QRコード】

(参考) GLOBE AT NIGHT(夜空の明るさ世界同時観察キャンペーン)とは

国際ダークスカイ協会(IDA)が2006年から行っている取組で、一般の方に夜空を見上げていただき、その見え方が観察シートにある8つの星図のどれに一番近いか観察していただくものです。観察結果を国連ダークスカイ協会に報告すると、即座に世界中に共有されるため、世界のどこで星座がはっきり見えるかが明らかになります。

環境省「COOL CHOICE」イメージキャラクターの「君野イマ」「君野ミライ」は、地球温暖化対策に対する賢い選択を促す国民運動のイメージキャラクターです。ここでは、星空観察の取組をご案内し、皆さまに、エネルギーの無駄など、環境保全の重要性について関心を深めていただきたいと思います。

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ



2. デジタルカメラによる夜空の明るさ調査

観察期間：平成30年8月2日(木)～8月15日(水)

観察時間：日没後1時間半～3時間半まで

データ報告期間：平成30年8月2日(木)～9月14日(金)

(事前の申込みは不要ですが、今後3年程度の継続観察を希望される方は、登録をお願いします。)

① 使用できるカメラとレンズを用意します

RAW形式で保存可能なレンズ交換式デジタル一眼カメラ(2008年以降に発売された機種を推奨)を使用します。使用できるレンズは、標準レンズ。35mm前後の焦点距離で開放F値が5.6よりも小さい(明るい)ものです。

② カメラを設定します

カメラのダイヤルを「M」(マニュアル)に合わせます。

カメラの設定画面で、シャッタースピードを30秒、F値を5.6、ISO感度を800、写真画像の保存形式をRAW、長秒時ノイズ低減をON、高感度ノイズ低減をOFF、フォーカスモードをMFに設定します。

※分析に使用するため、カメラの時計は正確に合わせておきましょう。

③ 夜空を撮影します

カメラに記録メディアを入れ、三脚にセットします。遠くの風景でピントを合わせます。カメラは真上(天頂)に向け、画面の長辺が東西方向に向くように調整します。(厳密に合わせる必要はありません。)

シャッタースピード30秒で撮影します。なお、撮影中に薄雲がかかってしまった場合は、撮影を中断し、雲が通りすぎるのを待ちます。

④ 撮影データを確認します

画面の左から右方向へ星が流れて写っていることを確認します。

星は少しずつ位置が移動しているので、30秒間でほんの少しずつ写ります。

⑤ 撮影したデータを送ります

撮影が終わったデータを報告サイト(<https://hoshizora-kansatsu.astroarts.co.jp>)に送信してください。

※「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」の観察結果は、後日、環境省ホームページで公表予定です。
(個別に結果をお知らせすることはしません。)



デジタルカメラによる夜空の明るさ調査は、今後、星空の地域資源としての活用に資するため、3年程度の継続的なデータの蓄積を経て、地域ごとの夜空の明るさの段階分けを予定しています。
今後3年程度の継続観察(夏と冬の2回)への参加を希望される団体、若しくは個人の方は、環境省(hikari@env.go.jp)まで、是非ご登録をお願いします。 ※登録方法は、別紙3を参照してください。



星空観察や光害について、特設サイト「星空を見よう」も是非ご覧ください。

<https://www.env.go.jp/air/life/hoshizorakansatsu/index.html>